

～環境学館いずみ運営ボランティアによる「いずみガイド」～

12月のデキゴト

12月12日(日)開催 「自然はともだち！」

12月12日(日) ゾロ目の日！キャンドルリース作りが開催されました。講師は埼玉森林インストラクターの高畑先生と石井先生です。

講座の内容をイメージしやすいようにざっくり説明します。材料にカラフルな紙皿、土ねんど、木材、「森の恵みたち」を準備します。「森の恵みたち」とは、間伐材のヒノキ、フウの実、マテバシイの実、南京ハズの実・・・などの全部で10種類。

作り方は、紙皿の中央あたりにキャンドル置き用の木材を置き、土ねんどで固定します。土ねんどに「森の恵みたち」を自由に飾れば完成です。この方法ならば、お正月のお飾りやハロウィン、お誕生日にもアイデア次第で活用できそうです。

山の恵みを手にしながらかつられたリースは、どれも優しく温かみのある作品でした。木々に感謝しながら丁寧に作っている子どもたちの姿は穏やかで自然な姿でした。

さて、今回の講座で一番大変なのは「森の恵みたち」を集める事でしょう。もし、集めるところから始めたら朝から夜まで時間を要したかもしれません。自然界の赤・白・茶・黒・緑の色の季節の実や枝が集まるだけで、不思議なことにクリスマスを楽しませてくれます。

寒い季節の中で心温まるひと時でした。クリスマスの日にはキャンドルに火をともして神聖な時間を過ごしたのでしょうか。

環境学館いずみ運営ボランティア 0.J